令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1)都立蔵前工科高等学校 学校運営連絡協議会(定時制課程)
- (2) 事務局の構成 主任教諭(教務主任兼務)=事務局長、生活指導主任、進路指導主任 計3名
- (3) 内部委員の構成

副校長、経営企画室長、教務主任(教務担当)、生活指導主任、進路指導主任 計5名

(4)協議委員の構成

町会長、民生委員、警察署員、公共職業安定所職員、幼稚園長、同窓顧問

計6名

- 2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要
 - (1) 学校運営連絡協議会(第1~3回)の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年月27日(木)集合開催

(出席者) 外部委員:民生員、同窓会、警察、幼稚園園長

内部委員:副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

校長挨拶、委員の自己紹介、学校経営報告及び計画、学運協設置について、学運協報告 各分掌概況報告、意見交換、事務連絡など

第2回 令和6年11月20日(水)集合開催

(出席者) 外部委員:町会長、民生員、同窓会、警察、職業安定所

内部委員:副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

校長挨拶、学校の概況報告(経営企画室、教務部、生活指導部、進路指導部)

学校評価アンケートの今後について、意見交換、事務連絡

第3回 令和7年3月14日(金)集合開催

(出席者) 外部委員:町会長、民生員、同窓会、警察、職業安定所

内部委員:副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任 校長挨拶、本校の現状報告(経営企画室、教務部、生活指導部、進路指導部)、学校 評価アンケート結果について、協議委員による学校評価、事務連絡

- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年11月20日(水)集合開催

(出席者) 外部委員:町会長、民生員、同窓会、警察、職業安定所

内部委員:副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

学校評価アンケートの基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討等第2回 令和7年3月14日(金)

(出席者) 外部委員:町会長、民生員、同窓会、警察、職業安定所

内部委員:副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任 (内 容)

校長挨拶、本校現状報告、学校評価アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

- 3 学校運営連絡協議会による学校評価
 - (1) 学校評価の観点

学校の意欲、学校への理解、学校の実践等の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模 () は前年度の数値

· 12月 全校生徒 対象:13人 回収:11人 回収率: 85% (93%)

· 12月 教職員 対象: 16人 回収: 16人 回収率: 100% (100%)

1月
地域住民
対象:47人
回収:47人
回収率:100%

(3) 主な評価項目

学校生活、授業、技術修得、部活動、資格取得、進路指導、ルール・マナー、いじめ・差別、 体罰、特別活動、SNS、学校行事、オンライン授業、生徒会活動、給食、地域参加、施設・ 設備、ライフワークバランス、安全教育等

(4) 評価結果の概要

- ・生徒、保護者、教職員の9割以上が肯定的であった設問は、学校生活の充実・学習の将来性・基礎的な知識、技能の習得・授業のわかりやすさ・資格、検定の取得・ルールやマナー・体罰や暴力・教員の生徒への対応・安全教育・SNSへの注意喚起・学校行事の充実の11項目であった。
- ・生徒の45%、保護者50%、教員の69%が否定的であった設問は、「生徒が地域行事に参加するなど、地域との交流を活発に行っていると思う」であった。 また、「読書活動がさかんで、図書館の利用者も多いと思う」についても、生徒の63%、保護者の50%が否定的な回答を示している。

(5) 評価結果の分析・考察

- ・4年連続で、読書・図書館利用が課題となっている。週2日の図書館閉館が影響していると 思われるが、アシスタント職員の応募がなく、閉館日が発生してしまう状況である。
- ・定時制活動時間帯が夜間中心なので地域交流は難しい状況である。地域清掃活動を通して、 地域への貢献と関心を高める活動を行っている。
- ・部活動の活性化は、難しい状況である。
- ・学校生活、知識・技能、授業のわかりやすさ、資格取得については、十分な結果が出ている。 また、いじめや体罰など生徒と教員の関係も良好である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・授業に関する生徒の回答は、「あてはまる」「ややあてはまる」が全体の9割近くであった。
 - ・本年も、学校運営連絡協議会は全て集合開催で行われた。協議委員からは、「学校改善がな されている」の評価が減る結果となった。年度末の異動者が無回答となった。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
 - ・避難訓練、安全教育に工夫を加え実施したことについては、一定の評価が得られた。また、 地域と連携した防災訓練を行ったが、教育活動の内容が外部に伝わりにくかった。
- 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項
 - (1) 学校運営
 - ・協議委員からの提言、学校評価アンケートから課題を分析し、解決に向け組織的・計画的に取り組む。
 - ・「学校の情報発信」を促進するため、ホームページの充実、蔵工通信の継続、広報活動を強 化する。
 - (2) 学習指導
 - ・生徒1人1台端末やICT機器の活用、年1回以上のオンライン授業の計画を立てる。
 - (3)特別活動
 - ・生徒会活動・部活動及び学校行事の活性化により、学校生活の満足度を向上させる。
 - (4) 生活指導
 - ・授業規律の確立、SNS 学校ルールの徹底等により、「いじめ」を無くし安全で落ち着いた学習環境を整備する。
 - (5) 進路指導
 - ・本校で学んだ建築、設備関係の知識、技能を活かせる進路指導を行う。
- 6「学校運営連絡協議会の評価アンケート」において学校が良くなったと回答した人数
 - (1)協議委員の人数 6人
 - (2) 回答者数 6人

そう思う	多 少 そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない	無回答
3	1		1			1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

・職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加は実施に至らなかった。

8 その他

- ・保護者アンケートの回収については、31%と前年度より12ポイント下回ったが、回答ができない保護者を加えると実質54%となり、11ポイント上回る結果となっている。保護者の回答内容も「わからない」が4項目で減少している。今後も課題として、アンケート回収の率向上及び「わからない」の回答を更に減らしていきたい。
- ・地域アンケートについては、全項目で、「わからない」「あまり知らない」「あてはまらない」が5割程度占めている。授業や学校行事等に地域の要望を取り入れている項目は、「わからない」「あまり知らない」が7割近くであり、地域・学校の交流について更なる検討が必要である。